

第13回 市長と話そう会（ひとひとネット武雄）

日 時 平成30年4月24日（火）13:30～14:30

場 所 女性が元気になれるセンター

参加者 ひとひとネット武雄 会員10名



市民の皆様と市長が直接語り合う「市長と話そう会」第13回目は、ひとひとネット武雄の会員の皆さんからの活動報告を受け意見交換を行い、多数の意見をいただきました。内容を抜粋して掲載しております。

《掲載に当たり、一部個人のプライバシーに関する部分等については省略しております。》

【意見交換】

(参加者)

- ・新庁舎での相談室について

(市長)

- ・相談内容等個人情報の保護への配慮など、相談しやすいような個室であり充実している。

(参加者)

- ・相談時の安全対策等について（相談内容によっては、身の危険を案じる場面も想定される。）

(市職員)

- ・市民相談員室で受付を行い、どの相談室でどんな相談を受けているかわかるようにしている。

(市長等)

- ・庁舎内には警察官OBが待機しており、万が一危険な場面にも対処できる準備はある。

(参加者)

- ・安全な相談場所があると聞いて安心した。

(参加者)

- ・高齢者対策として、買い物難民とゴミ出し難民への対策について

(市長)

- ・ゴミ出し難民については、今後何ができるのか考えさせてほしい。

- ・買い物難民について、どこの地域でも直面している課題だと認識している。基本的には公共交通機関の利用、利用できない地域は近所や家族等で協力することが一番よいと考えている。ただし、カバーできない場合の対策について、今後考えていく必要がある。

- ・本年度高齢者福祉3億円事業を実施し、高齢者のお出かけ支援事業としてバス・タクシー券の1人1万円の支援事業を行う。これで根本的な解決は難しいが、これをきっかけに今後持続可能な対策を考えていきたい。

(参加者)

- ・地域包括ケアシステム等使う車両を市で準備することはできるのか。

(市長)

- ・車両を地域で準備することは難しいことは認識している。

(参加者)

- ・今後継続的に使えるような施策を考えてほしい。

(市長)

- ・他市町の先行事例をしっかりと見極めて判断していきたい。

(参加者)

- ・女性総合相談の考え方について

(市長)

- ・今後も継続する必要がある、件数ではなく内容の深刻さが増している。内容に合わせて一つの部署ではなく、複数の部署が連携してバックアップする体制を整えていきたい。今後の課題や意見等を聞かせていただき、それをしっかりと反映させていきたい。

(参加者)

- ・寄附等で基金を作り、DV被害者等への無利子貸付事業等を行っているが、件数も増え事業を継続するための金銭的な支援をしていただきたい。
- ・市営住宅入居の際に保証人がいなくても入居できる特別枠があればいい。
- ・相談場所を無償で借りている。現在の場所よりもわかりやすく相談しやすい、継続して使用できる場所を確保したい。

(参加者)

- ・病児病後児保育等の子育て支援について

(市長)

- ・4月よりたけお保育園内に開設した。病気の際は家族等が看護することが一番よいが、どうしても家で看ることができない場合等に使用してほしい。放課後児童クラブも待機者が出ている状況であるため、真に必要な人が使えるようなものとしていきたい。